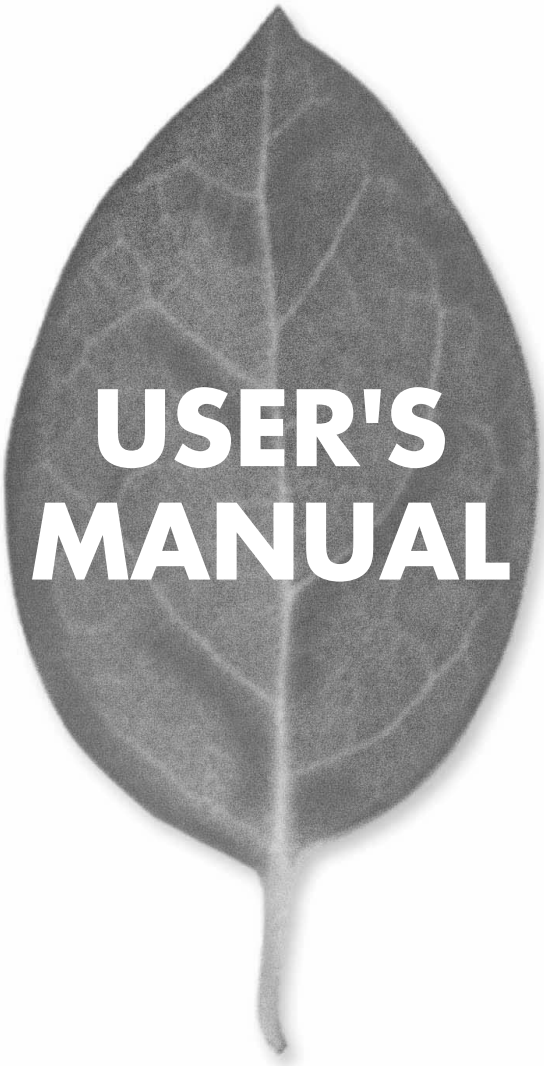


eXgateシリーズ　マルチユース アクセスポイント

BRC-AP04

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

eXgateシリーズ　マルチユース アクセスポイント

BRC-AP04

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
・ 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
・ 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
・ 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。
本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual　Version 1.1　　No.PMN-03-11-YT-BRC-AP04

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠ 警告

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。
医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。
交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DSOF 4

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。

・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

※ Microsoft®、Windows　は、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
※ Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
※ Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
※ Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
※ Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
※ Netscape®、Netscape Navigator® およびNetscape® Communicator は、米国Netscape® Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Macintosh®、Mac®、Mac OS® は、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
また、Mac OS® 9.0、9.1、9.2をMac OS® 9.xと、Mac OS® 8.5、8.6をMac OS® 8.xと、表記しています。
※ Adobe® Acrobat® Reader™ は、Adobe® Systems Incorporated （アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ JavaScript® は、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Yahoo!®、Yahoo!® BBは米国Yahoo!® Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ その他、本文中での記載の会社名および商品名およびロゴは各社の商標または登録商標です。
※ 付属品のCD‐ROM は日本語版OS 以外の動作保証はしていません。
※ 付属品のCD‐ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

本製品を安全にご利用いただくために ····· 3

第1章 はじめに

1. 概要 ····· 9
2. 特長 ····· 10
3. 梱包内容の確認 ····· 11
4. 各部の名称 ····· 12
5. 対応機器 ····· 15
6. 設定の初期化 ····· 16

第2章 ハードウェアの接続

1. 設置場所について ····· 17
2. 設置する ····· 18
3.パソコンとの接続 ····· 20
4. 電源の接続 ····· 21

第3章 パソコンの設定

1. パソコンのネットワーク設定を行う ····· 24
   - Windows® XP の場合 ····· 24
   - Windows® 2000の場合 ····· 26
   - Windows® Me/98SE/98の場合 ····· 28
   - Mac OS® Xの場合 ····· 30
   - Mac OS® 9.x/8.xの場合 ····· 32

第4章 設定ページを開く ····· 33

第5章 アクセスポイントの設定

1. ネットワーク設定 ····· 35
2. カスタム設定 ····· 39
3. 無線LANの設定 ····· 52

第6章 USBストレージ設定

1. ファイルサーバの設定 ····· 59

付録A 設置環境への注意 ····· 99

付録B 仕様 ····· 101

ユーザー登録について ····· 108

弊社へのお問い合わせ ····· 109

質問表 ····· 110

保証規定 ····· 112

保証書 ····· 113

はじめに

1 概要

本製品はIEEE802.11gに対応したマルチユースアクセスポイントです。
CPUにはインテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP420を採用し、従来のアクセスポイントに比べ多機能な拡張性を有しています。
本製品に内蔵のUSBポートにUSBストレージを接続することで、ファイルサーバとしても利用する事ができます。

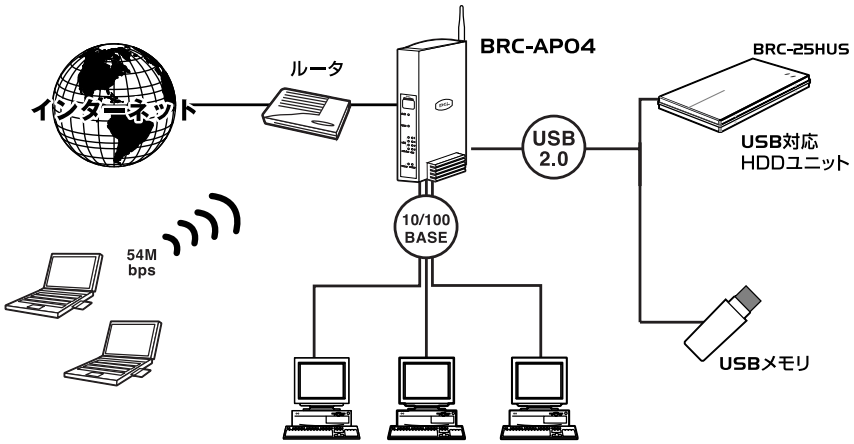


図1-1　接続図

2 特長

●インテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP420を搭載。

●IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX

●IEEE802.11gの高速無線LANに対応

●802.11g使用時、54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps 、802.11b使用時11/5.5/2/1Mbps
また、自動認識を選択することで、常に最適な通信速度に自動的に設定されます。

●高感度ダイポールアンテナ搭載

●無線セキュリティとして、64/128bit WEPに最大64件のMACアドレスフィルタリングにも対応

●第三者からの無断アクセスを防ぐ、SSIDを隠す機能を搭載

●4ポートスイッチングハブ内蔵

●内蔵USBポートにUSBストレージを接続し、ファイルサーバとして利用が可能

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●BRC-AP04本体
●専用ACアダプタ
●縦置き用スタンド
●UTPストレートLANケーブル（1m）
●ショートコード
●ユーザーズマニュアル（本書・保証書付き）

※付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■本体前面

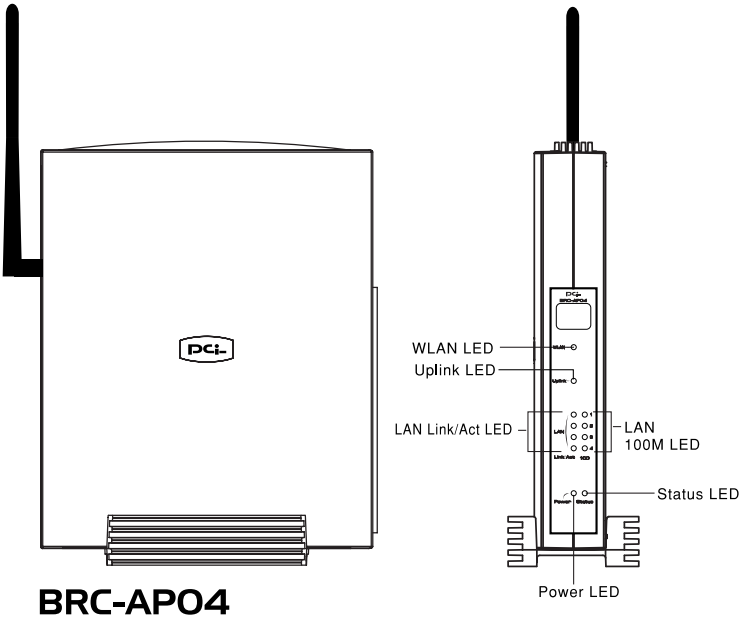


図1-2 BRC-AP04本体前面

Power LED	緑	点灯	電源が投入されています。
		消灯	電源が切れています。
Status LED	黄	点滅	起動準備中です。
	緑	点灯	正常に起動してる状態です。
LAN 100 LED	緑	点灯	LANポートが100Mで確立しています。
		消灯	LANポートが10Mで確立しています。
Link/Act LED	緑	点灯	LANポートでの接続が確立されています。
		点滅	LANポートでデータを送受信しています。
Uplink LED	緑	消灯	Uplinkポートでの接続が確立されていません。
		点灯	Uplinkポートでの接続が確立されています。
		点滅	Uplinkポートでデータを送受信しています。
WLAN	緑	消灯	無線LAN機能が無効です。
		点滅	無線LAN機能が有効です。

■本体背面

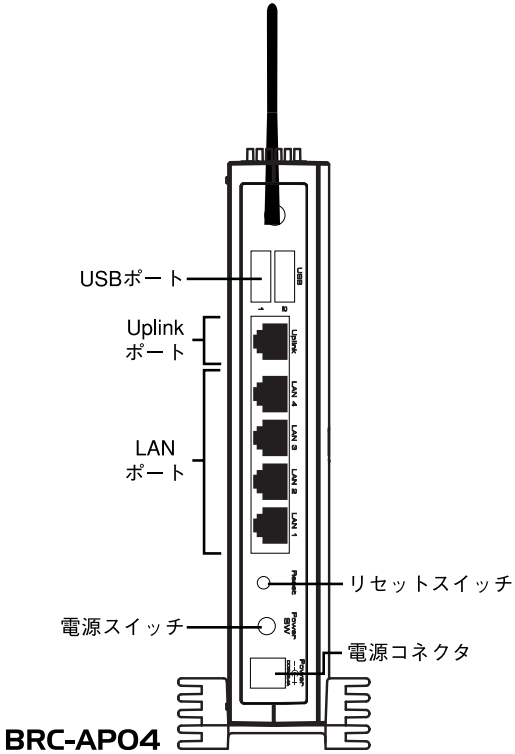


図1-3 BRC-AP04本体背面

■本体裏面

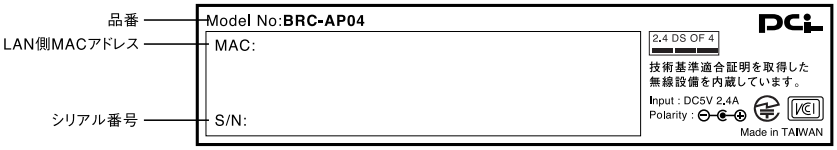


図1-4 BRC-AP04本体裏面

品番	Model No	本製品の型番です。
シリアル番号	S/N	本製品のシリアル番号です。
LAN側MACアドレス	LAN	本製品のLAN側のMACアドレスです。

5 対応機器

■パソコン機器

本製品は以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

●Windows® 98/98SE/Me/2000/XPを搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したパソコン
●MacOS® 8.x/9.x/Xを搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したパソコン

■ネットワーク機器

本製品では以下のネットワーク機器が必要になります。

●ツイストペアケーブル（本製品に接続するコンピュータの台数分）

■WEB設定画面について

本製品はWEBブラウザで設定を行います。
パソコンに以下のWEBブラウザがインストールされている必要があります。
また、WEBブラウザでJavaScript® が使用できるかどうか、設定を確認してください。
●Windows® の場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

●MacOSの場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

6 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった時や、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったときは、本製品の設定を初期化することで購入時の状態に戻すことができます。

注意

- ***設定の初期化を行うと、それまで設定されてた値は全て消去され購入時の状態に戻りますのでご注意ください。***
- ***初期化を実行する前に予め本製品に接続してるケーブルをポートから外しておくことを推奨します。***
- ***初期化が完了するまで、本製品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。***

■本製品の初期化手順

1. 本製品の電源アダプタを抜きます。
2. 本製品のリセットスイッチを押しながら、電源アダプタを差し込みます。
3. StatusLEDが点滅し終わるまでリセットスイッチを押し続けてください。
4. StatusLEDが点滅し終わったら初期化は完了です。

第2章

ハードウェアの接続

本章では、本製品の設置方法、パソコンとの接続手順について説明します

1 設置場所について

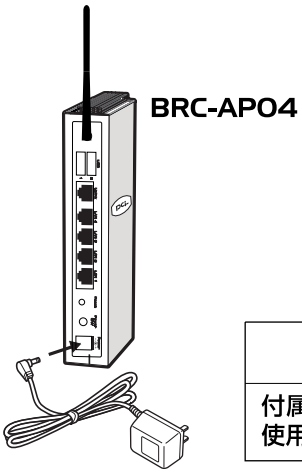
本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りください。

●湿気の多い場所には設置しないでください。
●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
●直射日光の当たる場所や温度の高い場所には設置しないでください
●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください

2 設置する

■電源アダプタのコネクタを差し込む

本製品の電源アダプタ接続端子に電源アダプタのコンセントを差し込んでください。電源アダプタは、まだ電源コンセントに差し込まないでください。

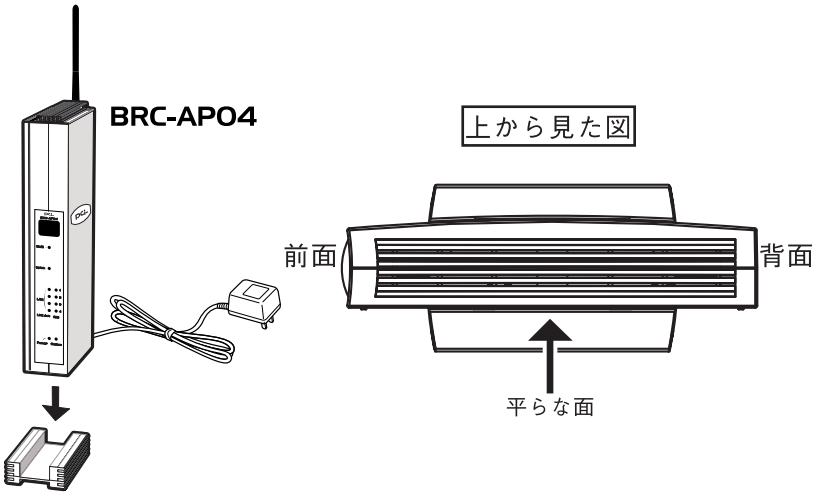


⚠注意

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

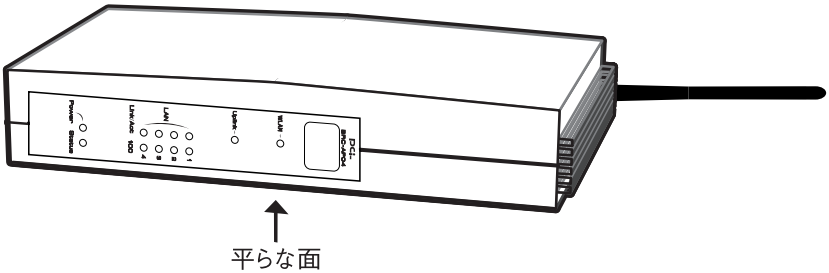
■縦置きする

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用してください。本体を付属の縦置き用スタンドに図のようにセットしてください。



■横置きする

図のように本体の平らな面が下になるように設置してください。

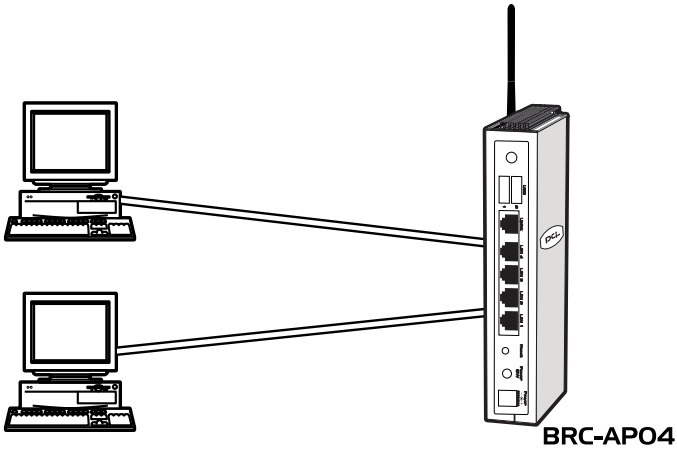


3 パソコンとの接続

本製品のLAN側ポートは結線のタイプを自動認識するAuto MDI/MDI-Xに対応しています。
接続するパソコンの数だけツイストペアケーブルをご用意ください。

1. ツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN側ポートに接続します。

2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに差し込みます。
このとき、ケーブルのコネクタがポートの奥までしっかりささっているかを確認してください。

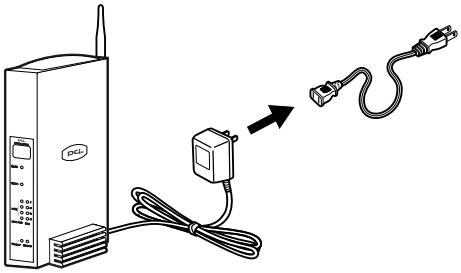


4 電源の接続

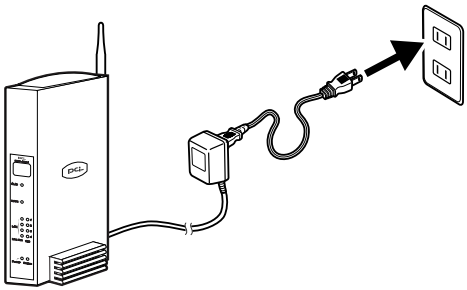
電源アダプタを電源コンセントに差し込んで、電源をONにします。その後正常に通信が行われているか、ランプを見て確認します。

1. 電源アダプタのままでは電源コンセントに差し込みにくい場合、電源アダプタに付属のショートコードをつなぎます。

※電源アダプタのままで問題ない場合は、ショートコードをつながなくても構いません。



2. 電源アダプタまたはショートコードを電源コンセントに差し込みます。



3. 電源がONになります。本製品前面のランプを確認します。

ランプ	状態
Powerランプ	点灯します。
Statusランプ	電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んだときにオレンジ色で点滅し、本製品の起動後は緑色で点灯します。

パソコンの設定

本章では、本製品を設定するための準備について説明します。
パソコンのネットワーク設定を確認し必要に応じて設定を変更します。
設定方法はOSによって異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

■パソコンのネットワーク設定を行う

○ Windows® XPの場合⇒24ページ

○ Windows® 2000の場合⇒26ページ

○ Windows® Me/98SE/98の場合⇒28ページ

○ MacOS® Xの場合⇒30ページ

○ MacOS® 9.X/8.Xの場合⇒32ページ

1 パソコンのネットワーク接続を行う

■Windows® XPの場合

注意

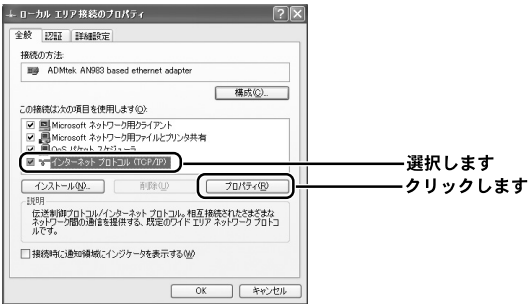
●この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
●以下の操作手順および表示画面はWindows® XPの初期状態の場合です。Windows® XPの設定によっては異なる場合があります。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

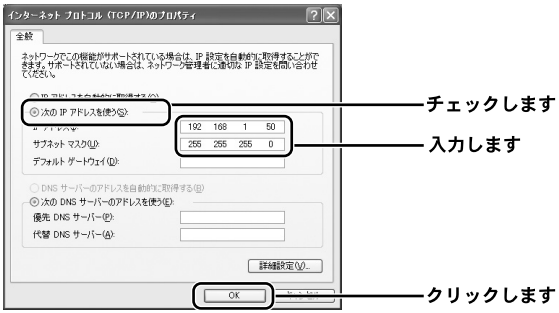
2. ［ネットワークとインターネット接続］の画面が表示されます。
［ネットワーク接続］をクリックします。

3. ［ネットワーク接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面が表示されます。

4. ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



5. ［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］の画面が表示されます。
「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1～99または101～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。
［OK］ボタンをクリックします。



注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

6. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。

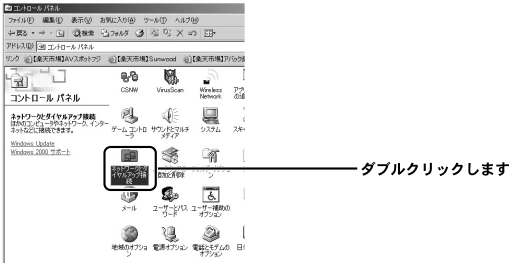
■Windows® 2000の場合

注意

この作業を行うには［Administrator］または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

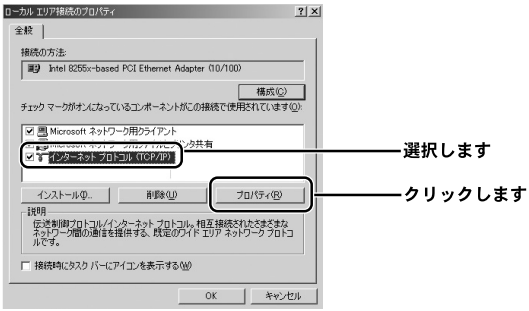
1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワークとダイアルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

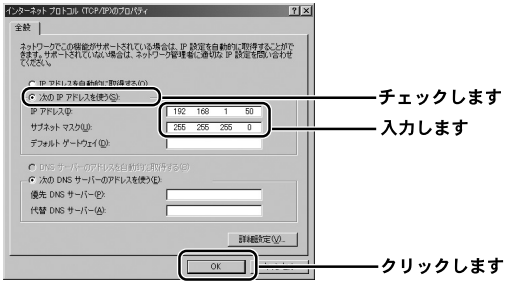


3. ［ネットワークとダイヤルアップ接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

4. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面が表示されます。
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



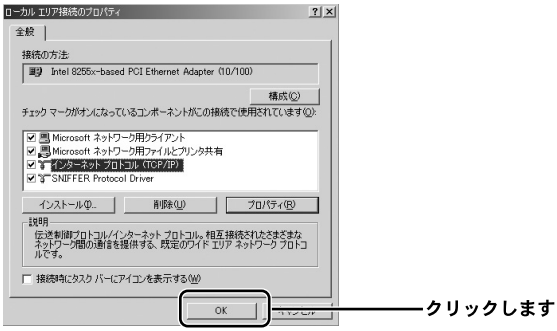
5. ［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］の画面が表示されます。
れます。「次のIPアドレスを使う」を選択します。IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1～99または101～254の任意の値）、サブネットマスクに「254.255.255.0」と入力します。
［OK］をクリックします。



注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

6. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。



■Windows® Me/98SE/98の場合

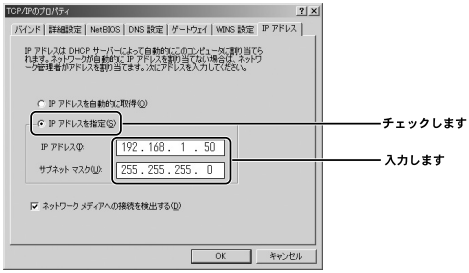
1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

※Windows® Meで［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、コントロールパネル左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックしてください。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［現在のネットワークコンポーネント］欄から［TCP/IP －＞お使いのLANカード（またはLANボード）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

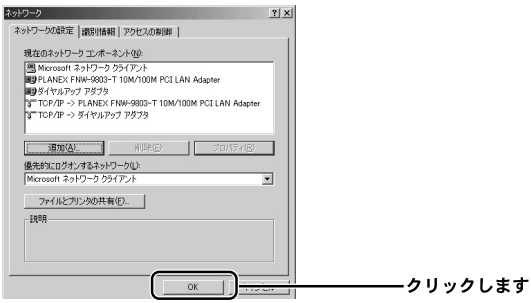
4. ［TCP/IPのプロパティ］の画面が表示されます。
「IPアドレス」タブをクリックし、画面内の「IPアドレスの指定」を選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1～99または101～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。［OK］をクリックします。



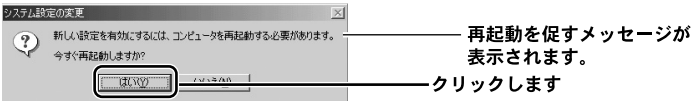
注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

5. ［ネットワーク］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。



6. 再起動を要求するメッセージが表示されましたら、［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMacOSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2. ［システム環境設定］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをクリックします。

［システム環境設定］
ウィンドウが表示されます。

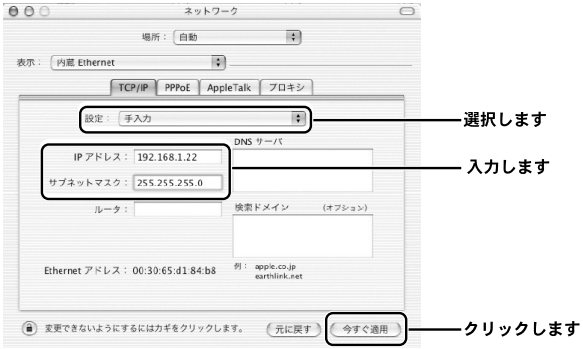
クリックします

※ここに［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［設定］欄から［（内蔵）Ethernet］を選択します。

選択します

4. ［TCP/IP］タブをクリックし、［設定］欄から［手入力］を選択します。［IPアドレス］欄に「192.168.1.x」（xは1〜99または101〜254の任意の値）、サブネットマスクは「255.255.255.0］と入力します。［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

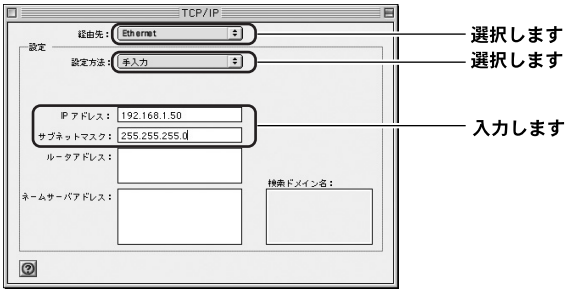


■Mac® OS9.x/8.xの場合

※表示される画面はMacOSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。

2. ［TCP/IP］の画面が表示されます。
［経由先］欄から［Ethernet］を選択し、［設定方法］欄から［手入力］を選択します。［IPアドレス］欄に「192.168.1.x」（xは1～99または101～254の任意の値）、サブネットマスクは「255.255.255.0］と入力します。



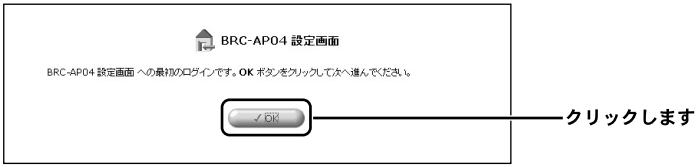
3. クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。
確認ウィンドウが表示されたら、［保存］ボタンをクリックします。

設定ページを開く

本 **製品の設定は、Webブラウザから「設定ページ］を開いて行います。ここでは、パソコンを本製品に接続し設定ページを開く方法について説明します。**

1. 本製品にパソコンを接続し、Webブラウザを起動します。アドレスを入力する欄に「http://192.168.1.100」と入力します。

2. 本製品に初めて接続した場合は、下記の画面が表示されます。内容を確認し［OK］ボタンをクリックします。



3. ［ログイン設定］画面が表示されます。（2回目以降は［ログイン］画面が表示されます）

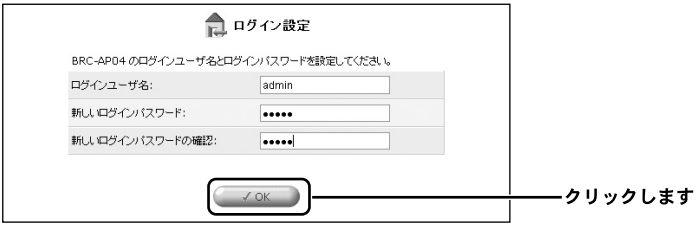
4. **本製品の設定ページにログインするための、ログインユーザ名、ログインパスワードを入力します。**

[ログインユーザ名]
任意のログインユーザ名を入力します。
半角英数字を使用し、１～64文字の範囲で入力してください

[新しいログインパスワード]
任意のパスワードを入力します。
半角英数字を使用し、1～64文字の範囲で入力してください。入力したログインパスワードは「＊」または「●」で表示されます。

[新しいログインパスワードの確認]
確認のため再度パスワードを入力してください。

5. ［OK］ボタンをクリックします。



6. ［BRC-AP04設定画面］の画面が表示されます。

アクセスポイントの設定

本章では、本製品の各機能について説明します。

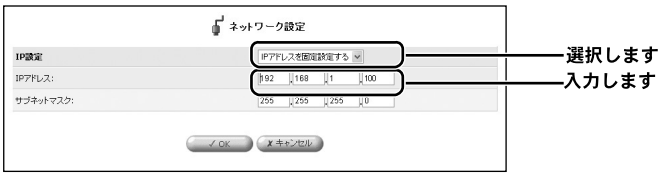
1 ネットワーク設定

ここでは、本製品のIPアドレスの変更ができます。
本製品のデフォルトIPアドレスは「192.168.1.100」になります。お使いのネットワーク環境に合わせてIPアドレスを変更してください。

●IPアドレスを固定設定する場合

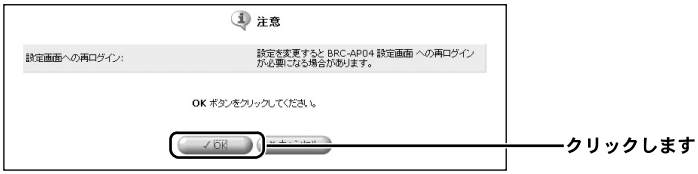
1. サイドバーから［ネットワーク設定］アイコンをクリックします。
［ネットワーク設定］の画面が表示されます。

2. ［IP設定］欄から［IPアドレスを固定設定する］を選択し、IPアドレス、サブネットマスクを入力します。



3. ［OK］ボタンをクリックします。

4. 設定画面の再ログインメッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。



注意

本製品のIPアドレスを変更した場合は、変更後のIPアドレスで再度ログインし直してください。

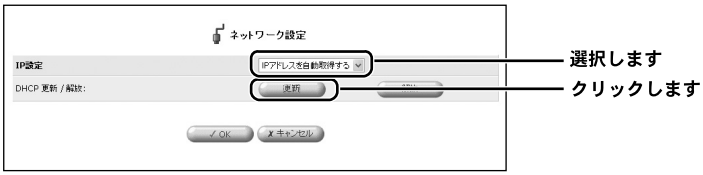
5. 以上で設定は終了です。

●IPアドレスを自動取得する場合

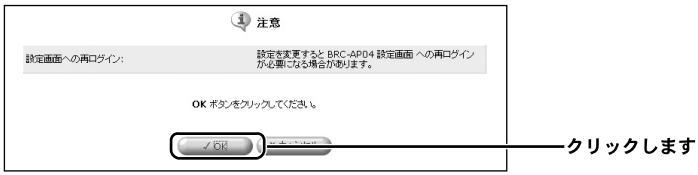
本製品はDHCPクライアント機能を搭載しています。お使いのネットワーク環境にDHCPサーバがある場合は、自動的にIPアドレスを取得することができます。

1. サイドバーから［ネットワーク設定］アイコンをクリックします。

2. ［ネットワーク設定］の画面が表示されます。
［IP設定］欄から［IPアドレスを自動取得する］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

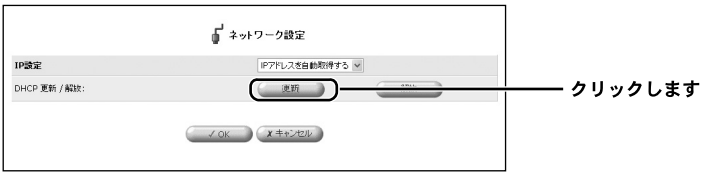


3. 設定画面の再ログインメッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。



4. サイドバーから［ネットワーク設定］アイコンをクリックします。

5. ［ネットワーク設定］の画面が表示されます。
［DHCP 更新/解放］欄から［更新］ボタンをクリックします。



6. DHCPサーバから自動的にIPアドレスを取得します。

※自動的に取得したIPアドレスを開放する場合は、［DHCP 更新/解放］欄から［解放］ボタンをクリックします。

2 カスタム設定

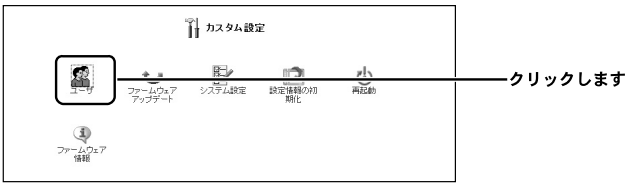
ここでは、本製品に登録するユーザの設定ができます。

■ユーザ

●ユーザの新規設定

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

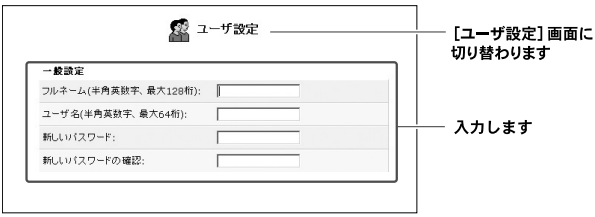
2. ［ユーザ］アイコンをクリックします。



3. ［ユーザの追加］欄から「追加」ボタンをクリックします。

4. ［ユーザ設定］画面が表示されます。

フルネーム、ユーザ名、新しいパスワードを入力します。



[フルネーム]

登録するユーザのフルネームを入力します。半角英数字で128桁まで入力できます。

[ユーザ名]

新しく登録するユーザのログイン名を入力します。半角英数字で64桁まで入力できます。

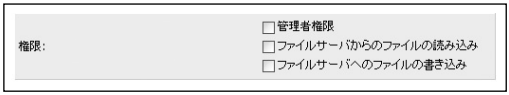
[新しいパスワード]

ユーザがログイン時に使用するパスワードを入力します。半角英数字で64桁まで入力できます。
大文字と小文字は区別されますのでご注意ください。

[新しいパスワードの確認]

「新しいパスワード」と同じパスワードを再度入力します。

5. 本製品での権限を設定します。



[ファイルサーバからのファイルの読み込み]

USBハードディスク接続時に、ディスク内のファイルの読み込みを許可する場合は、チェックします。

[ファイルサーバからのファイルの書き込み]

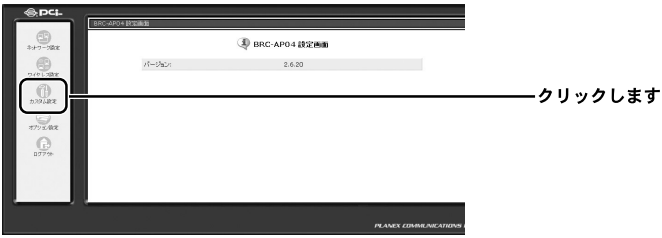
USBハードディスク接続時に、ディスク内のファイルの書き込みを許可する場合は、チェックします。

6. [OK] ボタンをクリックします。

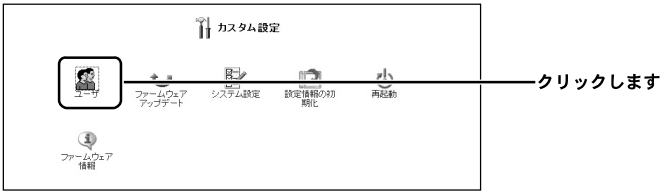
7. 以上で設定は終了です。

■ユーザの設定

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。



2. ［ユーザ］アイコンをクリックします。



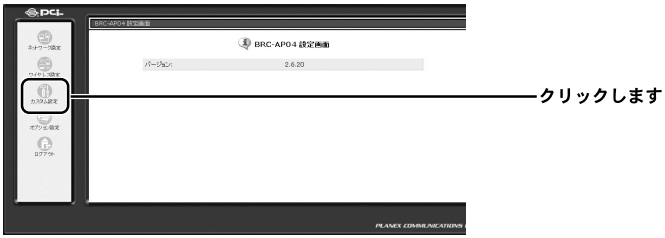
3. 設定を変更したいユーザの「修正」ボタンをクリックします。

4. ［ユーザ設定］画面が表示されます。修正したい項目の変更を行い、［OK］ボタンをクリックします。

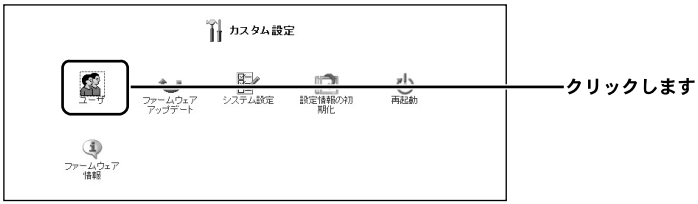
5. 以上で設定は終了です。

■ユーザの削除

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。



2. ［ユーザ］アイコンをクリックします。



3. 設定を削除したいユーザの「削除」ボタンをクリックします。

注意

購入時に登録されてるAdministratorは削除することができません。

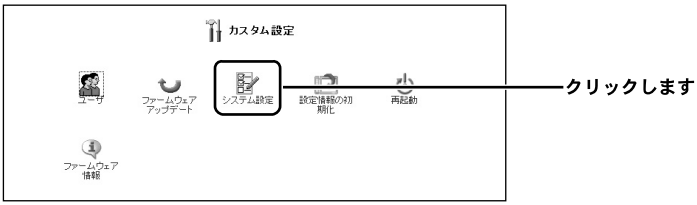
4. 以上で設定は終了です。

■システム設定

本製品のホスト名やLAN側のドメイン名などを設定できます。

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

2. ［システム設定］アイコンをクリックします。



3. ［システム］欄に本製品のホスト名、ドメイン名を入力します。

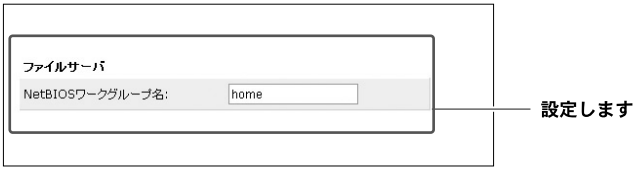
［ホスト名］

本製品のホスト名を入力します。

［ローカルドメイン］

LAN内で使用したいドメイン名を入力します。

4. USBハードディスクを接続している場合、［ファイルサーバ］欄から［NetBIOSワークグループ名］を入力します。



［NetBIOSワークグループ名］

LAN内で使用するワークグループ名を入力します。

5. ［設定画面］欄から［ネットワーク設定の変更時に確認を行う］を設定します。

［ネットワーク設定の変更時に確認を行う］

ネットワークに関する変更をしたときに、確認メッセージを表示させたい場合は、チェックします。

■ファームウェアアップデート

本製品の購入後、当社のホームページからダウンロードしたファイルを使って、最新のファームウェアにアップデートすることができます。

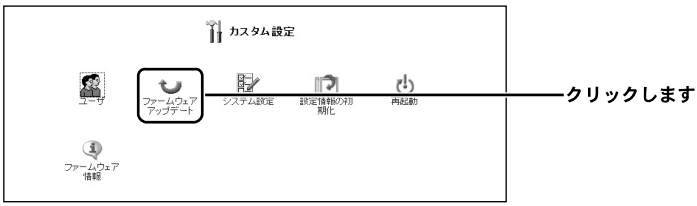
注意

- ***インターネットに接続している場合は、アップデートを行う前に全ての通信を切断してください。また、LAN内のパソコンはアップデート作業を行うパソコンを除いて全て電源をOFFにしてください。***
- ***ファイアウォールやウィルススキャンソフトがインストールされてるパソコンでアップデート作業を行う場合は、事前にソフトウェアを終了してください。***
- ***このアップデートは当社が独自に提供するサービスです。新機能の追加や性能の増強を保証するものではありません。***

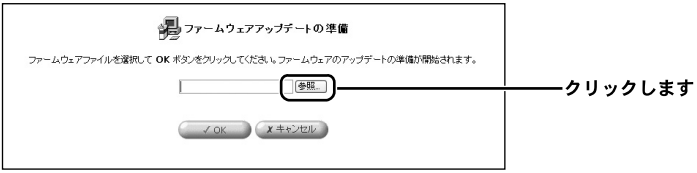
1. 当社のホームページから最新のファームウェアをダウンロードします。
ダウンロードしたファイルは、アップデート作業を行うパソコンのハードディスクなどに保存してください。

2. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

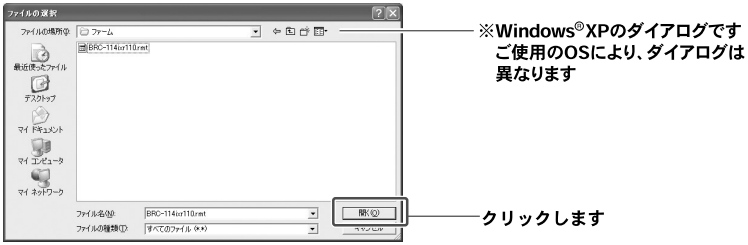
3. ［ファームウェアアップデート］アイコンをクリックします。



4. ［ファームウェアアップデートの準備］の画面が表示されます。
［参照］ボタンをクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定します。



5. ［開く］ボタンをクリックします。



6. ［OK］ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデートの準備が開始されます。

> **注意**
>
> ***ファームウェアアップデートの準備中は、絶対に本製品の電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりしないでください。ファームウェアアップデートの準備には、数十秒間かかります。［OK］ボタンをクリックしたら、そのまましばらくお待ちください。***

7. ファームウェアアップデートの準備が終了すると、［ファームウェアアップデート］の画面が表示されます。
［現在のバージョン］と［新しいバージョン］に表示されるバージョン番号に間違いが無いか確認してください。
［OK］ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップデートが開始されます。

> **注意**
>
> ***ファームウェアのアップデート中は、絶対に本製品の電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりしないでください。ファームウェアアップデートには、数十秒間かかります。［OK］ボタンをクリックしたら、そのまましばらくお待ちください。***

8. アップデートが終了すると、本製品は自動的に再起動します。新しいバージョンのファームウェアは再起動後に有効になります。

9. 再起動が完了すると、ログイン画面に戻ります。以上でファームウェアの更新は終了です。

注意

本製品以外のファームウェアを使ってアップデートを行うことはできません。無理にアップデートを行うと本製品が動作しなくなりますので、ご注意ください。

■設定情報の初期化

設定ページから本製品の設定内容を消去して、購入時の状態に戻すことができます。

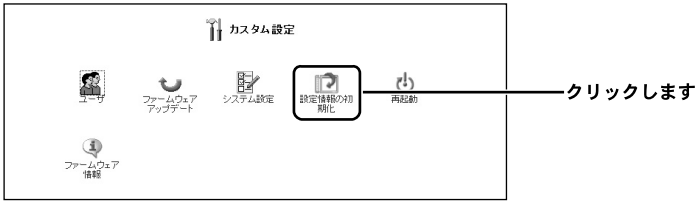
※本体にあるリセットスイッチを使って、設定を消去することもできます。

注意

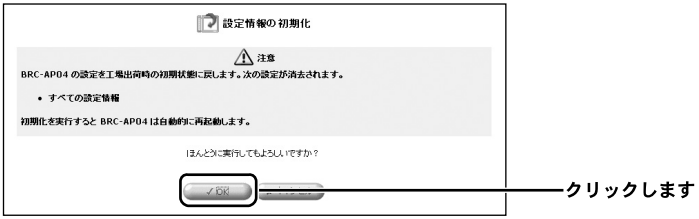
この機能を使うと、設定ページにアクセスするためのパスワードを含め、変更した設定内容がすべて消去されます。また、本製品のLAN側ポートのIPアドレスを変更していた場合は、購入時の「192.168.1.100」に戻ります。ご注意ください。

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

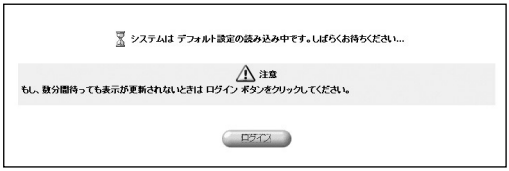
2. ［設定情報の初期化］アイコンをクリックします。



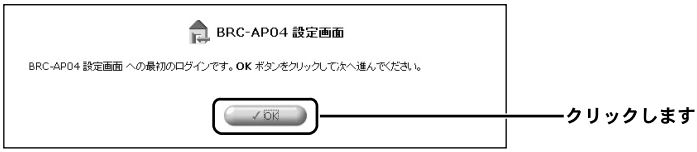
3. ［OK］ボタンをクリックします。



4. 初期化が始まります。

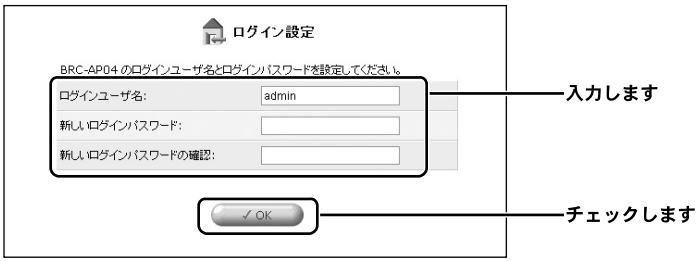


5. 設定内容の消去が終わると、設定ページに初めてログインするときの画面に切り替わります。



※画面が切り替わらないときは、［ログイン］ボタンをクリックしてください。

6. ユーザ名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。
［ネットワークマップ設定画面］に切り替わります。



［ログインユーザ名］

設定ページにログインするユーザ名を入力します。

［新しいログインパスワード］

パスワードを入力します。

［新しいログインパスワードの確認］

［新しいログインパスワード］の内容をもう一度入力します。

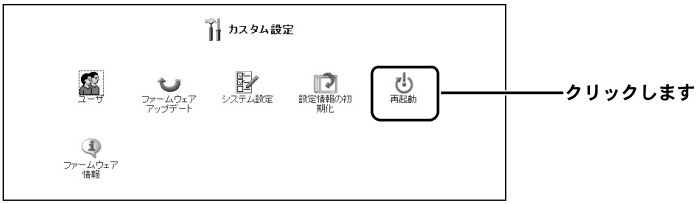
7. ［OK］ボタンをクリックすると、設定ページの［BRC-AP04］に切り替わります。

■再起動

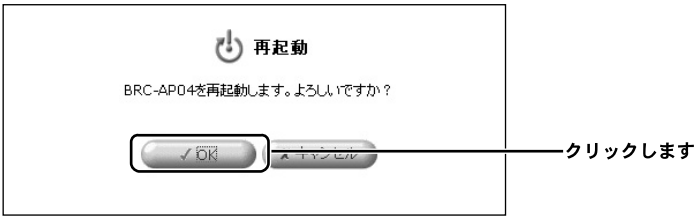
本製品の再起動を行います。

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

2. ［再起動］アイコンをクリックします。



3. ［OK］ボタンをクリックします。



■ファームウェア情報

本製品のファームウェアのバージョンを確認できます。

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

2. ［ファームウェア情報］アイコンをクリックします。

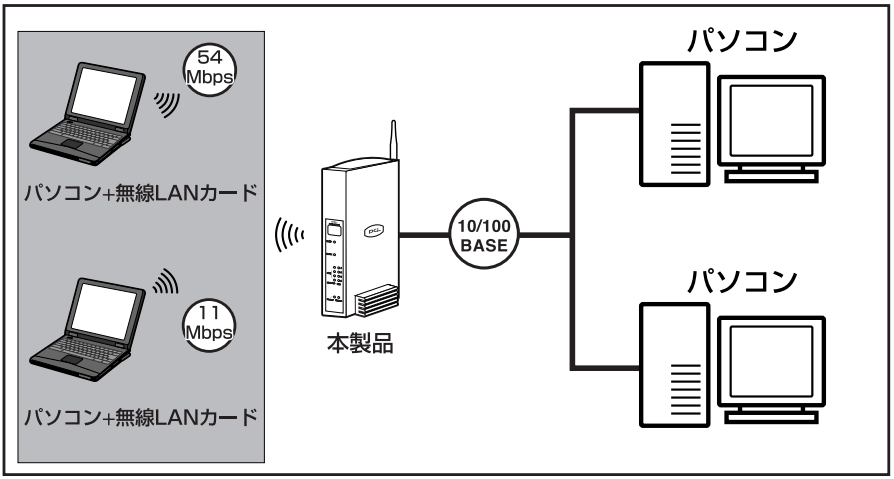
3 無線LANの設定

無線LANの設定

ここでは、本製品を利用して802.11gの無線LANを構築する例を紹介します。

本製品は802.11g規格に準拠した無線LANを有しています。
802.11gは従来の802.11bと同じ2.4GHzを利用しながら、最大54Mbpsの高速な無線LAN環境を構築することが可能です。また、普及率No.1の802.11bとの通信も行えるため、既存の無線LAN資産を有効に活用することができます。

●BRCシリーズを利用した無線LANの例



■無線LAN設定の設定ページを開く

ここでは、本製品を利用した802.11gの無線LANを設定するための方法について説明します。

1. 本製品にパソコンを接続し、設定画面を開きます。

2. サイドバーから［ワイヤレス設定］アイコンをクリックします。

3. 無線LANアクセスポイントの設定画面が表示されます。

■基本設定

ここでは、本製品で使うSSID、チャネル、送信速度の設定を行います。

■「SSID」

SSIDはワイヤレスネットワークのアクセス制御用の識別名です。SSIDを設定すると、同じSSIDを設定したクライアントのみ接続ができます。半角英数字で最大32文字になります。

■「チャンネル」

ワイヤレスネットワークで使用するチャンネルを1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13から選択します。チャンネルは隣接するアクセスポイントと重ならないチャンネルを設定します。本製品の802.11gでのデフォルト値は 1 になります。

■「送信速度」

本製品の送信速度を設定します。IEEE802.11gの送信速度を固定で設定する場合は、54/48/36/24/18/12/9/6から選択します。
IEEE802.11bの送信速度を固定で設定する場合は、11/5.5/2/1Mbpsから選択します。
自動に設定すると電波状況に応じて、常に最適な通信速度に自動的に設定されます。
本製品のデフォルト値は自動になります。

4. ［OK］ボタンをクリックすると、設定が保存されます。暗号化を行う場合は、「暗号化の設定」へお進みください。セキュリティの設定を行う場合は「セキュリティ設定」へお進みください

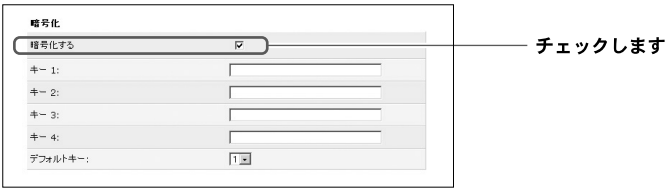
暗号化の設定

暗号化はワイヤレスネットワークで通信を行う際に、転送データを暗号化する機能です。
本製品には64bit、128bitのWEP機能が搭載されています。
暗号化を設定することにより、より高いセキュリティを使用したワイヤレスネットワークを構築できます。

注意

暗号化を行う場合は、本製品とクライアントの両方に同じ暗号化の設定を行う必要があります。

1. ［暗号化］欄から［暗号化をする］にチェックをつけます。



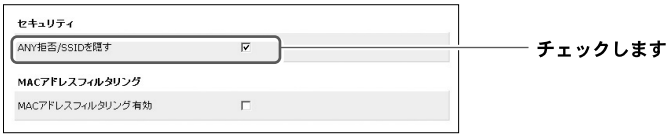
2. ［キー1～キー4］に暗号キーを入力します。
16進数で入力する場合は、64bitWEP使用時には10文字、128bitWEP使用時には26文字を入力します。
ASC IIで入力する場合は、64bitWEP使用時には任意の英数字5文字、128bitWEP使用時には任意の英数字13文字を入力します。

3. ［デフォルトキー］欄から暗号化の際に使用するデフォルトキーを選択します。

セキュリティ設定

本製品にはワイヤレスネットワークで、セキュリティの高いワイヤレス通信を行うための機能が付いています。第三者から本製品に無断アクセスさせないための機能や登録したクライアントだけ通信を許可したり、拒否したりすることができます。

1. ［ANY拒否/SSIDを隠す］にチェックします。
［ANY拒否/SSIDを隠す］にチェックをつけることで、ANYに設定されたクライアントを拒否することができ、また、AP検索やWindows XPのゼロ・コンフィグレーション機能等でSSIDを表示させることが出来なくなります。これにより、第三者からの無断アクセスを防ぐことができます。



2.「MACアドレスフィルタリング有効」にチェックします。

3. ［フィルタリング動作］欄から［許可］または［拒否］を選択します。
許可を選択した場合は本製品に登録されたMACアドレスの機器のみがアクセス可能になります。拒否を選択した場合は本製品に登録されたMACアドレスの機器はアクセス不可能になります。MACアドレスを登録することでアクセス権の無いクライアントを排除することができます。

4. ［MACアドレス］欄に登録するMACアドレスを入力し、［追加］ボタンをクリックします。既に登録されてるMACアドレスを削除する場合は、削除したいMACアドレスを入力し、［削除］ボタンをクリックします。登録したMACアドレスは［フィルタリスト］欄に表示されます。

5. ［OK］ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

※これらの設定は、セキュリティを保持することを完全に保証するものではありません。

USBストレージ

本章では、本製品にUSBストレージデバイスを接続してファイルサーバとして使用する方法について説明します。

1 ファイルサーバの設定

■USBストレージデバイスを使用した利用例

本製品にUSBストレージデバイスを接続するとファイルサーバとして機能します。
ここではUSBストレージデバイスを利用するための概要をまとめます。

本製品にUSBストレージデバイスを接続します。

↓

USBストレージデバイスのパーティションを作成し、フォーマットします。

↓

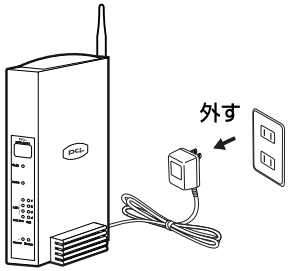
ワークグループの設定をします。

↓

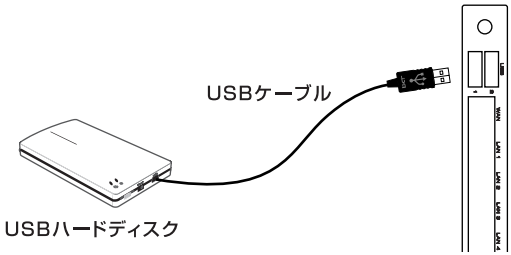
ユーザーアカウントの作成をします。

■BRC-AP04へのUSBストレージデバイスの取り付け

1. BRC-AP04電源アダプタを取り外し、BRC-AP04の電源を完全に切ります。USBストレージデバイスの電源が切れていることを確認します。



2. USBストレージデバイスを本製品に接続します。USBストレージデバイスに付属のUSBケーブルを使用して、本製品のUSBポートにハードディスクを接続します。



3. USBストレージデバイスの電源を入れます。

> **注意**
>
> ***本製品はUSBストレージデバイスのバスパワー動作はサポートしておりませんので、USBストレージデバイスは付属のACアダプタを使用するなどしてセルフパワーで動作させてください。***

4. 本製品の電源を入れてください

次にBRC-AP04からUSBストレージデバイスのパーティションの設定を行います。

■パーティションの作成とフォーマット

USBストレージデバイスを接続したら、パーティションの作成とフォーマットを行う必要があります。ここではパーティションの作成とフォーマットの手順を説明します。

●パーティションの種類

パーティションの種類には「プライマリパーティション」,「拡張パーティション」,「論理パーティション」があります。
「プライマリパーティション」は、１つのハードディスクに最大４個まで作成可能です。「拡張パーティション」はそれ自体ではドライブとして認識されません。ただし「拡張パーティション」内に「論理ドライブ」を複数作成することができます。（作成できる論理ドライブ数は最大11個までです。）

注意

- ***本製品のフォーマット方法でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式でフォーマットをご使用ください。***
- ***ドライブ文字はUSB ストレージデバイスをマウント時（接続したまま本製品を再起動した場合も含む）に自動的に基本領域、拡張領域の順に割り振られます。そのため、基本領域で割り当てられたドライブ番号（A,B など）を先に削除した場合や、先頭または途中にある未領域にドライブを割り当てた場合、ドライブ文字が入れ替わることがあります。領域を削除する場合は最後の領域から削除するようにして下さい。***
- ***12個以上の論理パーティションがあるUSBストレージデバイスを接続した場合、12個目以降の論理パーティションをファイルサーバ機能で使用することはできません。***

■パーティションの作成

1. サイドバーから［オプション設定］アイコンをクリックします。

2. ［オプション設定］画面が表示されます。
［ファイルサーバ］アイコンをクリックします。

3. ［ファイルサーバ］画面が表示されます。
［詳細］欄に接続されているハードディスク名が表示されます。
パーテンションを設定するハードディスク名をクリックします。

6

USBストレージ

4. ［ディスク情報］画面が表示されます。［パーティション］欄に接続されているハードディスクのパーティション情報が表示されます。

注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

5. ［パーティション］欄には以下の情報が表示されます。

■共有名

ネットワーク上で表示される共有ドライブ名です。共有名はBRC-AP04ホスト名とパーティション作成時に割り当てられたドライブ文字から自動的に作成されます。

■タイプ

パーティションのフォーマット形式です。Windows ® FAT32、FAT16またはLinuxのいずれかが表示されます。

■ステータス

パーティションの現在の状態が表示されます。フォーマット中はフォーマット状況が表示されます。［使用可］と表示されているパーティションがアクセス可能です。

■容量

パーティションに割り当てられている容量です。

■空き容量

パーティションの空き容量です。［容量］から［空き容量］を引いた分がパーティションの使用されている容量です。

■操作

パーティションの操作を行います。

注意

［共有名］に［未使用の領域］と表示されている部分はパーティションが作成されていないハードディスク領域です。

5. ［未使用の領域］欄から［追加］ボタンをクリックします。

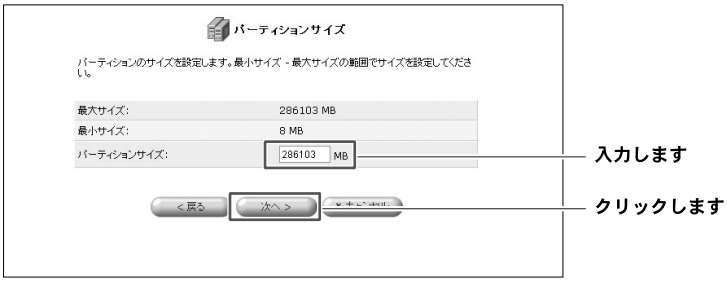
6. ［パーティションタイプ］画面が表示されます。作成するパーティションタイプを選択して［次へ］ボタンをクリックします。

［プライマリパーティション］を選択した場合は、P.65［プライマリパーティションの作成］に進みます。［拡張パーティション］を選択した場合はP.68［拡張パーティションと論理パーティションの作成］に進みます。

■プライマリパーティションの作成

1. ［パーティションタイプ］画面で［プライマリパーティション］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

2. ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ～最大サイズの範囲内で設定できます。

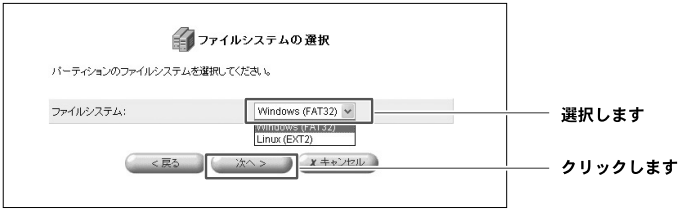


注意

本製品は1GB=1024MBで計算します。

3. ［パーティションのフォーマット］画面が表示されます。［フォーマットを行う］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［ファイルシステムの選択］画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選択して［次へ］ボタンをクリックします。



注意

本製品のフォーマット方法でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式でフォーマットをご使用ください。

5. ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。

6. パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成したパーティションの［ステータス］が［フォーマット中］と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。［ステータス］が［使用可］になるまでお待ちください。

注意

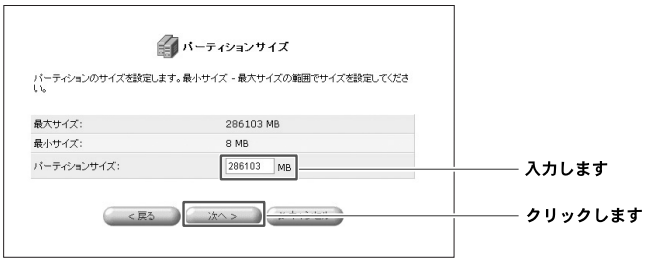
［ステータス］がフォーマットのまま変わらないときは、しばらく待ってから［表示の更新］ボタンを押してください。

7. ［未使用の領域］が残っている場合は、同様の手順でさらに追加のパーティションを作成する事ができます。

■拡張パーティションと論理パーティションの作成

1. ［パーティションタイプ］画面で［拡張パーティション］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

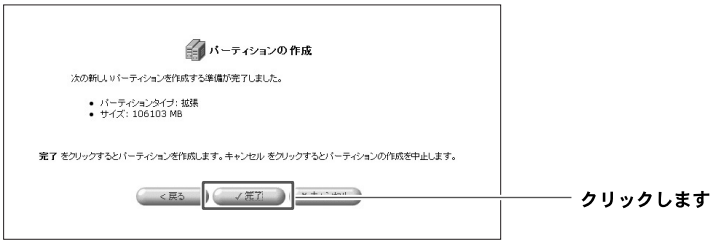
2. ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ～最大サイズの範囲内で設定できます。



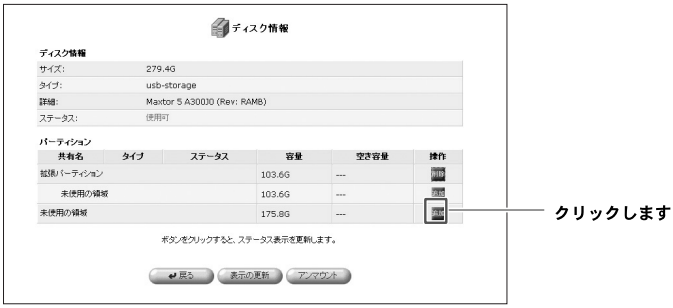
注意

本製品は1GB=1024MBで計算します。

3. ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。



4. パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成された［拡張パーティション］の［未使用の領域］欄から［追加］ボタンをクリックします。



5. ［パーティションタイプ］画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

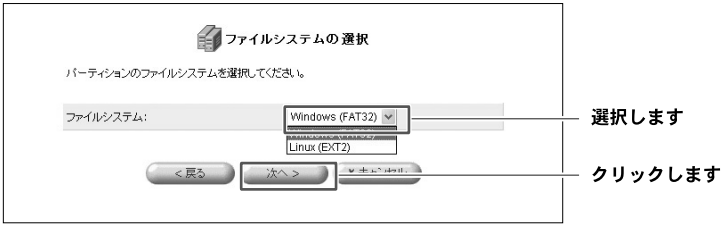
6. ［パーティションサイズ］画面が表示されます。［パーティションサイズ］に作成したいパーティションのサイズを入力して［次へ］ボタンをクリックします。パーティションサイズは最小サイズ〜最大サイズの範囲で設定できます。

注意

本製品は1GB=1024MBで計算します。

7. ［パーティションのフォーマット］画面が表示されます。［フォーマットを行う］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

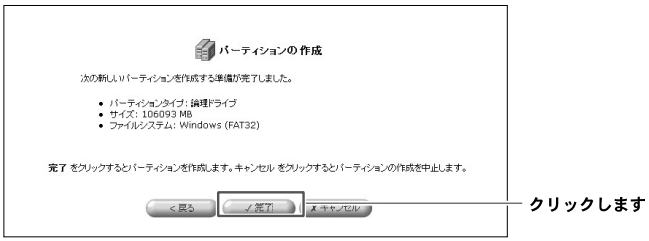
8. ［ファイルシステムの選択］画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選択して［次へ］ボタンをクリックします。



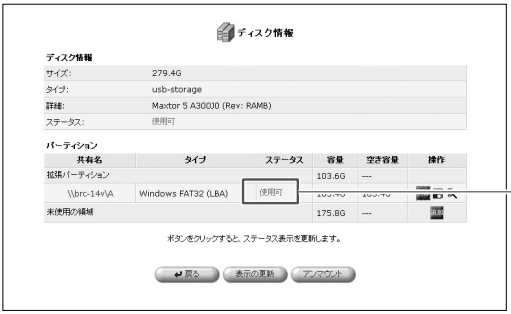
注意

本製品のフォーマット方法でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式でフォーマットをご使用ください。

9. ［パーティションの作成］画面が表示されます。［完了］ボタンをクリックします。



10. パーティションが作成され［ディスク情報］画面に戻ります。作成したパーティションの［ステータス］が［フォーマット中］と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。［ステータス］が［使用可］になるまでお待ちください。



注意

［ステータス］がフォーマットのまま変わらないときは、しばらく待ってから［表示の更新］ボタンを押してください。

11. ［拡張パーティション］の［未使用の領域］が残っている場合は、同様の手順でさらに追加の論理パーティションを作成する事ができます。

■フォーマット済みのUSBストレージデバイスを接続する場合

本製品にフォーマット済みのハードディスクを接続する場合は以下の点にご注意ください。

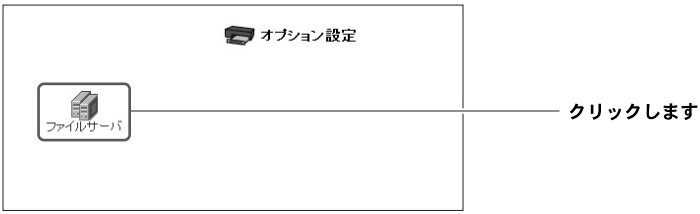
本製品がサポートしているハードディスクのフォーマットはFAT16,FAT32,EXT2のみです。それ以外のフォーマットは使用できませんのでコンピュータに接続してフォーマットしなおすか、BRC-AP04上でフォーマットしてください。

ここではNTFSでフォーマット済みのUSBストレージデバイスをBRC-AP04に接続してフォーマットするときの手順について説明します。

1. P60の手順でUSBストレージデバイスをBRC-AP04に接続します。

2. サイドバーから［オプション設定］アイコンをクリックします。

3. ［オプション設定］画面が表示されます。
［ファイルサーバ］アイコンをクリックします。



4. ［ファイルサーバ］画面が表示されます。
［詳細］欄に接続されているハードディスク名をクリックします。
パーテンションを設定するハードディスク名をクリックします。

6

USBストレージ

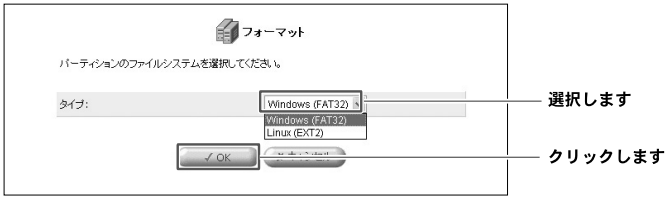
5. ［ディスク情報］画面が表示されます。［パーティション］に接続されているハードディスクのパーティション情報が表示されます。NTFSでフォーマットされているパーティションは「共有名」が「未サポート」と表示されます。

注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

6. 「未サポート」と表示されているパーティションの「操作」欄から「フォーマット」アイコンをクリックします。

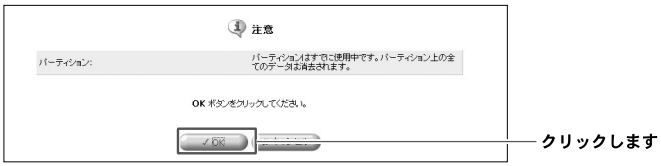
7. ［ファイルシステムの選択］設定画面が表示されます。［ファイルシステム］からフォーマットに使用するファイルシステムを選択して［OK］ボタンをクリックします。



注意

本製品のフォーマット方法でEXT2を選択する場合は、パーティションサイズを137438MB（137GB）以下でご使用ください。137GB以上のパーティションをご利用の場合は、FAT32形式でフォーマットをご使用ください。

8. 「注意」画面が表示されます。フォーマットを実行するとパーティション内のデータはすべて消去されます。フォーマットを実行する場合は［OK］をクリックします。



9. パーティションのフォーマットが開始され、［ディスク情報］画面に戻ります。パーティションの［ステータス］が［フォーマット中］と表示されているときはパーティションのフォーマットを行っていますので、ディスクにアクセスできません。［ステータス］が［使用可］になるまでお待ちください。

注意

［ステータス］がフォーマットのまま変わらないときは、しばらく待ってから［表示の更新］ボタンを押してください。

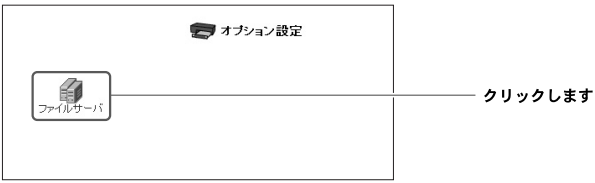
10. パーティションのステータスが「使用可」と表示されればフォーマットは完了です。パーティションはファイルサーバやWebサーバとして使用できるようになります。

■作成済みのパーティションの削除

ここではUSBストレージデバイスにあるパーティションの削除手順を説明します。

1. サイドバーから［オプション設定］アイコンをクリックします。

2. ［オプション設定］画面が表示されます。［ファイルサーバ］アイコンをクリックします。



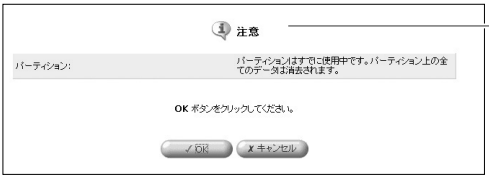
3. ［ファイルサーバ］画面が表示jされます。［詳細］欄に接続されているハードディスク名が表示されます。パーテンションを設定するハードディスク名をクリックします。

4. ［ディスク情報］画面が表示されます。削除したいパーティションの［操作］欄から［削除］アイコンをクリックします。

注意

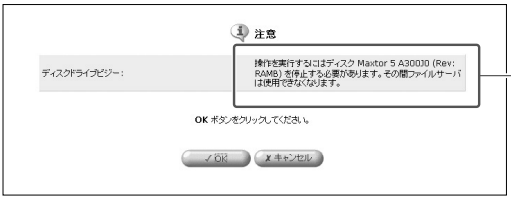
［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

5. ［注意］画面が表示されます。



［注意］画面が表示されます

この時にパーティションにアクセスしているユーザがいるときは下記のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたときは、ユーザのアクセスが終了するのを待ってからパーティションの削除をしてください。



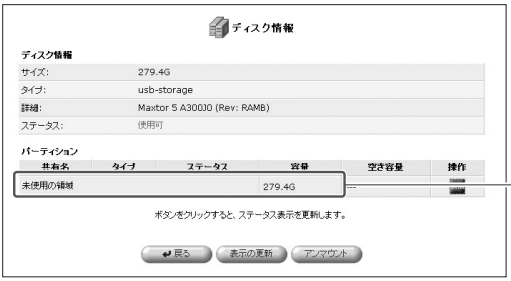
メッセージが表示されます

6. パーティションの削除を続ける場合は［OK］ボタンをクリックします。

注意

パーティションの削除を行うとパーティション内のデータはすべて失われます。パーティションの削除をするときは大事なデータが入っていないことを確認してください。

7. ［ディスク情報］画面に戻ります。パーティションが削除されて、未使用の領域が増えている事を確認します。



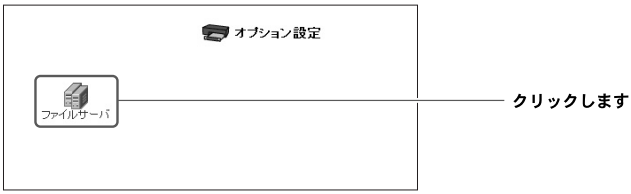
未使用の領域が増えている事を確認します。

■ハードディスクの取り外し

ここではUSBストレージデバイスをBRC-AP04から取り外すときの手順について説明します。BRC-AP04からUSBストレージデバイスを取り外すときは必ずアンマウントをしてから取り外します。

1. サイドバーから［オプション設定］アイコンをクリックします。

2. ［オプション設定］が表示されます。
［ファイルサーバ］アイコンをクリックします。



3. ［ファイルサーバ］画面が表示されます。
［詳細］欄に接続されているハードディスク名が表示されます。
パーテンションを設定するハードディスク名をクリックします。

4. ［ディスク情報］設定画面が表示されます。［アンマウント］ボタンをクリックします。

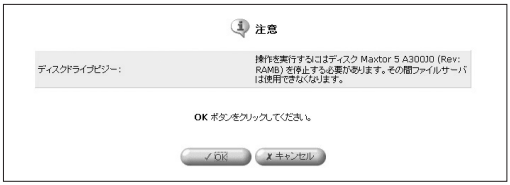
注意

［詳細］に表示されるハードディスク名はご使用になられているハードディスクによって変わります。マニュアルと同じ表記になるとは限りませんのでご注意ください。

5. ディスク情報の［ステータス］が［マウントされていません］になっていることを確認します。

注意

［アンマウント］ボタンをクリックしたときに［注意］画面が表示されるときは、USBストレージデバイスにユーザがアクセスしています。ユーザのアクセスを終了させてからアンマウントをしてください。ユーザのアクセスがないにもかかわらず［注意］が表示されるときはセッションが残っている場合があります。この場合は10分経過するとセッションが切れますので、10分ほどお待ちになってからアンマウントしてください。



5. USBストレージデバイスの電源を落とし、USBケーブルをBRC-AP04から取り外します。

アクセス設定

本製品にUSBストレージデバイスを接続した時点でファイルサーバとして動作しますが、作成したパーティションにアクセスする為にはワークグループの設定とユーザアカウントの作成が必要になります。

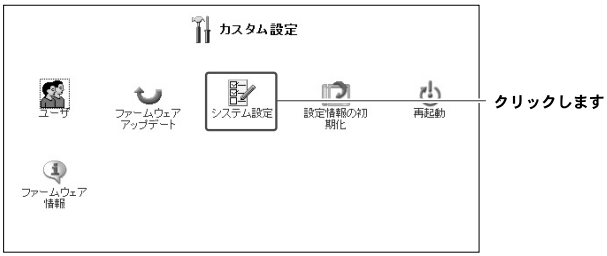
ここではワークグループ名の設定とユーザアカウントの作成について説明します。

■ワークグループ名の設定

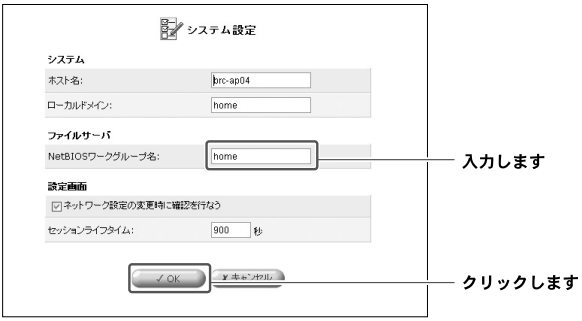
コンピュータがファイルサーバにアクセスする為には、コンピュータとBRC-AP04のワークグループ名が同じである必要があります。

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

2. ［カスタム設定］画面が表示されます。［システム設定］アイコンをクリックします。



3. ［ファイルサーバ］欄から［NetBIOSワークグループ名］にコンピュータに設定してあるワークグループ名を入力します。［OK］ボタンをクリックします。



注意

ファイルサーバにアクセスするコンピュータのワークグループはすべて同じにしておいてください。ワークグループが違う場合にはコンピュータのマイネットワークにファイルサーバが表示されません。

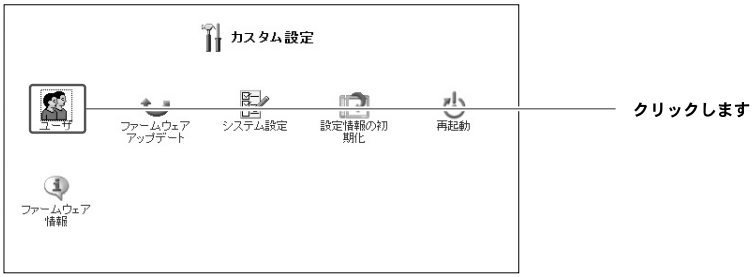
4. ［カスタム設定］画面に戻ります。

つづいてユーザアカウントの作成を行います。

■ユーザアカウントの作成

1. サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

2. ［カスタム設定］画面が表示されます。［ユーザ］アイコンをクリックします。



3. ［ユーザ］画面が表示されます。［ユーザの追加］欄から［追加］ボタンをクリックします。

4. ［ユーザ設定］画面が表示されます。フルネーム、ユーザ名、パスワードを入力します。

> **注意**
>
> ***ユーザの使用するOSがWindows® の場合はユーザ名とパスワードはユーザのWindows® へのログインネームとログインパスワードと同じに設定します。***

5. ［権限］からユーザのファイルサーバへのアクセス権限を選択します。

●ファイルサーバからのファイルの読み込み

この権限にチェックの入っているユーザはファイルサーバのデータを読み出す事が出来ます。

●ファイルサーバへのファイルの書き込み

この権限にチェックの入っているユーザはファイルサーバにデータを書き込む事が出来ます。またこの権限ではファイルサーバのデータの消去をする事も出来ます。

> **注意**
>
> ***書き込みの権限があるユーザには必ず読み込みの権限も付けてください。読み込みの権限のみか読み込みと書き込みの両方の権限のいずれかに設定してください。***

6. ［OK］ボタンをクリックします。アカウントが作成され［ユーザ］画面に戻ります。

■ファイルサーバへのアクセス

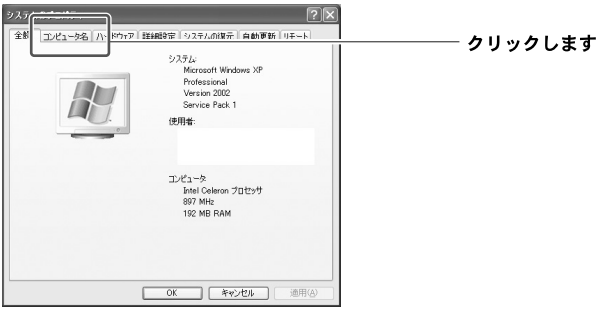
ここでは各OS毎のファイルサーバへのアクセス手順について説明します。Windows®ではBRC-AP04の［NetBIOSワークグループ名］とWindows®のワークグループを同じに設定します。

●ワークグループの設定

Windows® XP

1. ［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

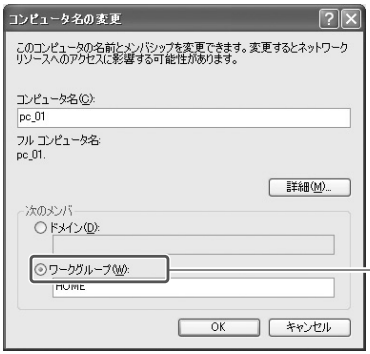
2. ［システムのプロパティ］ウィンドウが表示されます。［コンピュータ名］タブをクリックします。



3. ［コンピュータ名］タブから［変更］ボタンをクリックします。

クリックします

4. ［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［次のメンバ］から［ワークグループ］を選択します。［ワークグループ］にBRC-AP04の［NetBIOSワークグループ名］と同じ値を入力します。



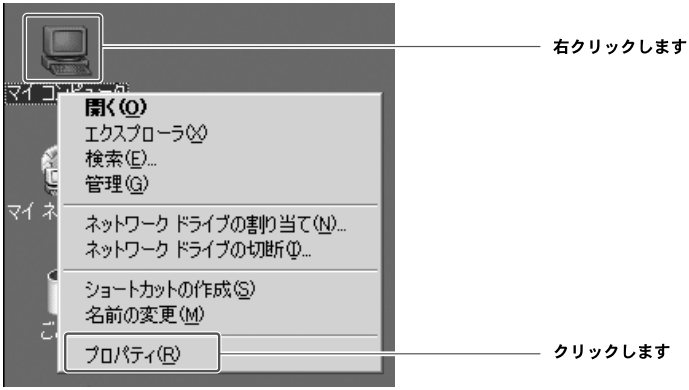
選択します

5. ［OK］ボタンをクリックします。［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。

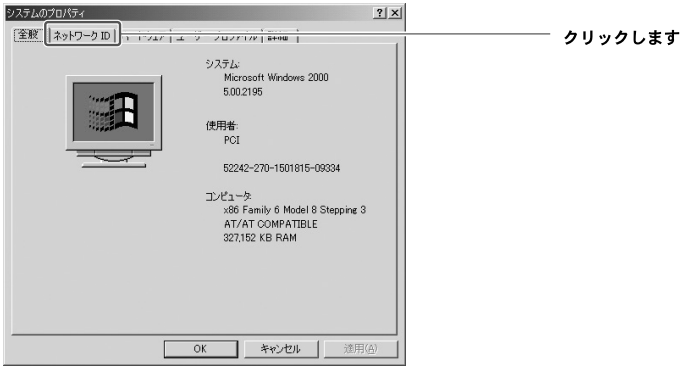
6. ［システムのプロパティ］ウィンドウに戻ります。［OK］ボタンをクリックします。再度、［コンピュータ名の変更］ウィンドウが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows® 2000

1. デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。



2. ［システムのプロパティ］ウィンドウが表示されます。［ネットワークID］タブをクリックします。

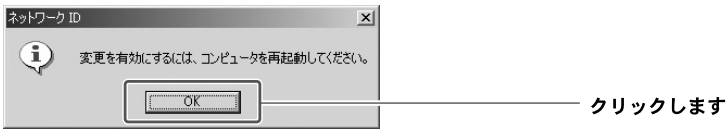


3. ［ネットワークID］タブから［プロパティ］ボタンをクリックします。

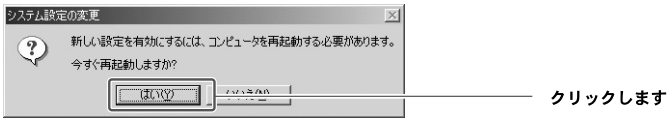
4. ［識別の変更］ウィンドウが表示されます。［次のメンバ］から［ワークグループ］を選択します。［ワークグループ］にBRC-AP04の［NetBIOSワークグループ名］と同じ値を入力します。

5. ［OK］ボタンをクリックします。［ネットワークID］ウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックします。

6. 再度、［ネットワークID］ウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックします。［OK］ボタンをクリックします。

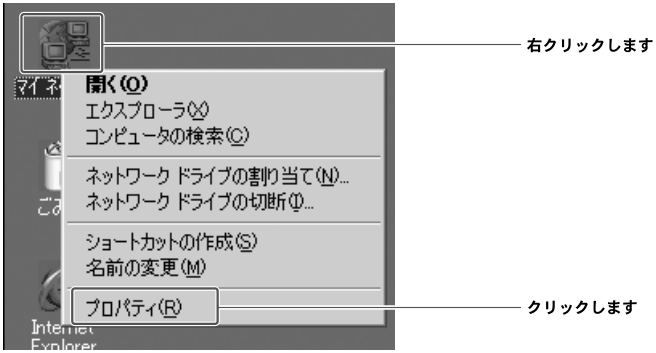


7. ［システムのプロパティ］ウィンドウに戻ります。［OK］ボタンをクリックします。［システム設定の変更］ウィンドウが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

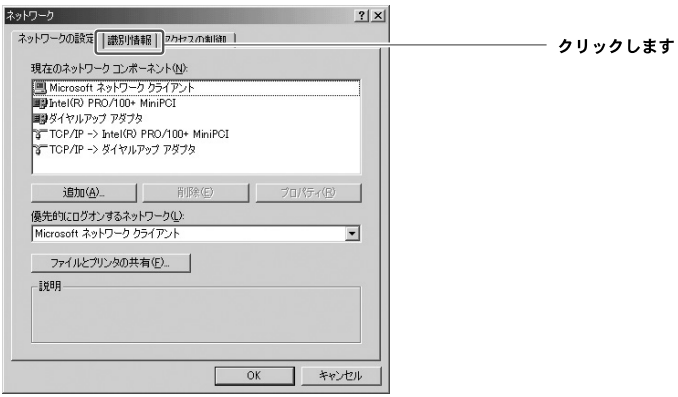


Windows® Me

1. デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

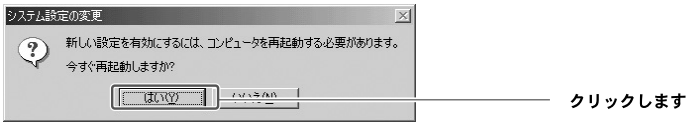


2. ［ネットワーク］ウィンドウが表示されます。［識別情報］タブをクリックします。



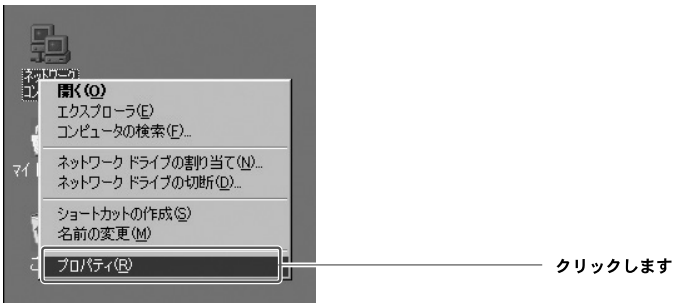
3. ［識別情報］タブの［ワークグループ］にBRC-AP04の［NetBIOSワークグループ名］と同じ値を入力します。

4. ［OK］ボタンをクリックします。［システムの設定変更］ウィンドウが表示されます。［はい］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

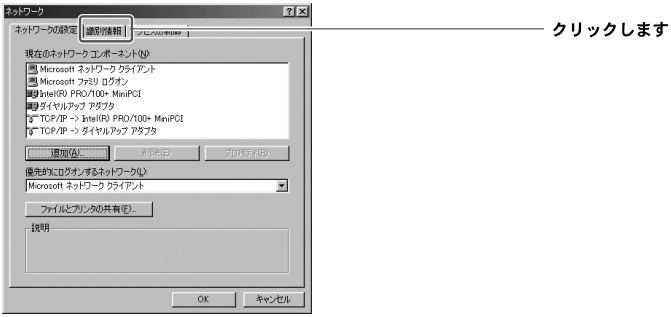


Windows® 98/98Second Edition

1. デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

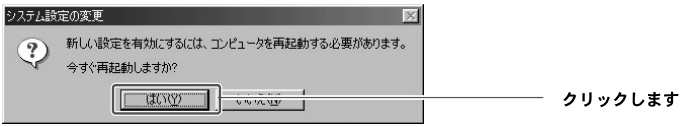


2. ネットワーク］ウィンドウが表示されます。［識別情報］タブをクリックします。



3. ［識別情報］タブの［ワークグループ］にBRC-AP04の［NetBIOSワークグループ名］と同じ値を入力します。

4. ［OK］ボタンをクリックします。［システムの設定変更］ウィンドウが表示されます。［はい］ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。



●ファイルサーバへのアクセス

Windows® XP

1. ［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします

2. ［マイ コンピュータ］ウィンドウが表示されます。ウィンドウ左側から［マイ ネットワーク］アイコンをクリックします。

クリックします

6

USBストレージ

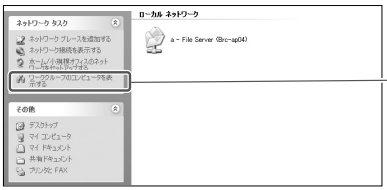
3. ［マイ ネットワーク］ウィンドウが表示され、ファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されます。アクセスしたいパーティションのアイコンをダブルクリックします。

注意

ユーザ名とパスワードを求められる場合はBRC-AP04にユーザが登録されていません。Windows® XPに登録してあるユーザ名とパスワードを登録してください。

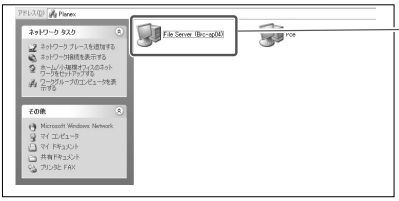
登録します

4. ［マイ ネットワーク］ウィンドウにファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されない場合は、［マイ ネットワーク］ウィンドウ左側の［ワークグループのコンピュータを表示する］をクリックします。



クリックします

5. 同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。［File Server］アイコンがBRC-AP04のファイルサーバです。［File Server］アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。



Windows® 2000

1. デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。［マイ ネットワーク］ウィンドウが表示されます。［近くのコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

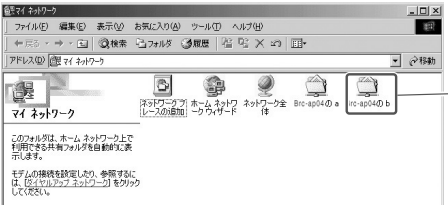
2. ［近くのコンピュータ］ウィンドウが表示されます。コンピュータの一覧が表示されます。BRC-AP04のホスト名に設定した名前のアイコンがBRC-AP04のファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。

注意

ユーザ名とパスワードを求められる場合はBRC-AP04にユーザが登録されていません。「ユーザアカウントの作成」の手順でBRC-AP04にWindows® 2000に登録してあるユーザ名とパスワードを登録してください。

Windows® Me

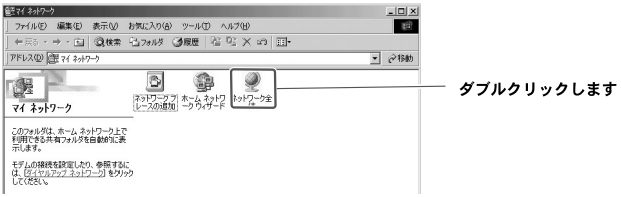
1. デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。［マイ ネットワーク］ウィンドウが表示され、ファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されます。アクセスしたいパーティションのアイコンをダブルクリックします。



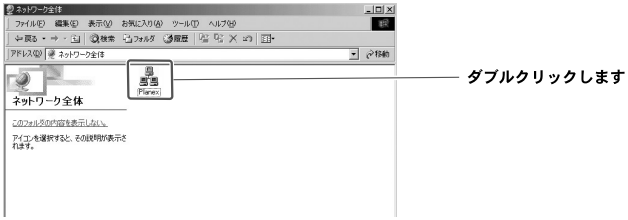
注意

ユーザ名とパスワードを求められる場合はBRC-AP04にユーザが登録されていません。「ユーザアカウントの作成」の手順でBRC-AP04にWindows® Meに登録してあるユーザ名とパスワードを登録してください。

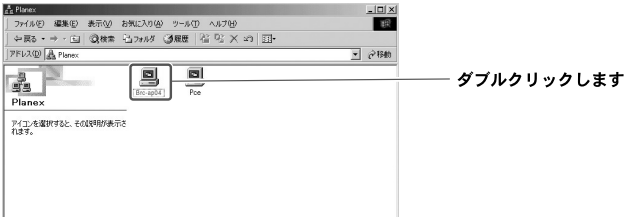
2. ［マイ ネットワーク］ウィンドウにファイルサーバの各パーティションのアイコンが表示されない場合は、［ネットワーク全体］アイコンをダブルクリックします。



3. ［ネットワーク全体］ウィンドウが表示されます。ワークグループと同じ名前のアイコンをダブルクリックします。



4. 同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。BRC-AP04のホスト名に設定した名前のアイコンがBRC-AP04のファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。



Windows® 98/98Second Edition

1. デスクトップ上の［マイ ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。［ネットワークコンピュータ］ウィンドウが表示され、同じワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。BRC-AP04のホスト名に設定した名前のアイコンがBRC-AP04のファイルサーバです。アイコンをダブルクリックすると各パーティションのアイコンが表示されますのでアクセスするパーティションのアイコンをダブルクリックします。

設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 （＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	ー
木材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	＊＊	天井
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

仕様

項目		説明
品名		マルチユース アクセスポイント
型番		BRC-AP04
ネットワークポート構成	Uplinkポート	10/100BASE-TX自動認識ポート×1（RJ-45コネクタ） IEEE802.3、IEEE802.3u、AutoMDI/MDI-X対応
	LAN側ポート	10/100BASE-TX自動認識ポート×4（RJ-45コネクタ） IEEE802.3、IEEE802.3u、AutoMDI/MDI-X対応
無線	サポート規格	IEEE802.11b ARIB STD-T66 IEEE802.11g ARIB STD-T66
	周波数帯域	2.4～2.497GHz
	伝送方式	OFDM（直行周波数分割多重変調方式） DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	チャンネル	1～13ch
	データ通信速度	IEEE802.11b：11.5.5.2.1Mbps IEEE802.11g：54.48.36.24.18.12.9.6Mbps自動認識
	アンテナ方式	ダイポールアンテナ
USBポート		USB2.0 ×2（タイプAコネクタ）
赤外線ポート		IrDA（サポート予定）
LED		Power（1）、Status（1）、Link/Act（4）、10/100M（4） WLAN（1）、Uplink（1）
操作部	スイッチ	リブートおよび設定初期化用スイッチ（1）
入力電源		電源アダプタ使用　AC 100-120 V 50 / 60 Hz
消費電力		最大9W
動作環境		周囲温度：0～40℃ 湿度　　：35～80%（結露しないこと）
外形寸法		約32（W）×約180（H）×約150（D） mm（アンテナ部除く本体のみ）
重量		約370g（本体のみ）
EMI		VCCI Class B

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5614-1018
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5614-1018

送信日：＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名			
部署名			
名前			
電　話		ＦＡＸ	
E-MAIL			

製品名 Product name	マルチユース アクセスポイント
型番 Product No.	**BRC-AP04**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

③ 質問内容

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理依頼の手順（センドバック方式）

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1.本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター
フリーダイヤル・0120-415977　　FAX・03-5614-1018
Web・http://www.planex.co.jp/support/repair/

2.ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
（誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。）

3.当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保 証 書

●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●

保証期間 Warranty	西暦　　年　　月　　日　より　1年間
製品名 Product name	マルチユース アクセスポイント
型番 Product No.	**BRC-AP04**
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	□□□－□□□□ 都 道 府 県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

プラネックスコミュニケーションズ株式会社